



ライトアップされると、庭の表情が一変。リビングに向かって左側はコンテンツポラリーな和室で、階段下の右側には玄関ホールが続いている。



ML
MOVIE
ML動画配信中!
見方の詳細は、
p.117へ!

ここに
かざす!

マリナーで過ごす週末 「非日常」を楽しむ海辺の別荘

海につながる広いデッキの庭、アウトドアバス、ダイナミックな吹き抜けリビング…。豊かな自然と近く過ごせる場を多く設けたS邸は、贅を尽くしたリゾートハウスです。

設計 / アーネストアーキテクト 撮影 / 熊谷忠宏 取材・文 / 宮崎博子

「建物の核となる開放的なLDKが、その両脇にあるプライベートゾーンとゲストゾーンをつなぐ構成になっています。ポイントは大開口を弧を描くラインにした点ですね。キッチンから見ると、放射状に海へと視線が広がるようにしています。」

週末は都会を離れ、家族で海辺の別荘へ。趣味のサーフィンやボート、庭で食事やバスタイムと自然とふれあいながら開放的に過ごすさま。海に開いたモダンな別荘で、さまざまなスタイルで暮らしを楽しむ様子が伝わってきます。

「個人の安らぎに包み込まれます。ここは、東京で暮らすSさんのセカンドハウス。「休日は日常から離れ、大好きな海とふれあいながら家族や友人たちと過ごせる別荘をもちたい」と、土地を探ること2年。遠く離れた兵庫の別荘地で、専用の船着き場のある土地に出会いました。「個性を反映させた優美なデザインと提案力」に魅力を感じ、Sさんはアーネストアーキテクトに設計を依頼。デザイナーの荒井大輔さんは、プランについてこう振り返ります。

「非日常の空間」をつくりあげるため、余分なものが目につかないデザインに。キッチンの機器をはじめ、面材の質感やディテールに至るまで精緻な収まりを徹底しています。照明や空調はリモコン操作で、壁面にスイッチ類はなし。床暖房やカーテンはスマートフォンで、またセキュリティ面も遠隔操作できるなど、最新の機能が取り入れられています。

余分な凹凸を抑えた
収まりの美しい空間

1階のリビングは、2階のオープンスペースとつながった大空間。吹き抜けに面したファミリーコーナーは南側に開口部があり、ガラスの床から階下のダイニングキッチンに光を伝えています。ファミリーコーナーの東側は、家族の寝室と水まわり。西側の棟も同じようなつくりで、ゲストがゆったりと過ごせるように配慮されています。

1 柱や植栽が連なるデッキの庭と融合した、品格のあるファサード。大きな吹き抜けや3つに分棟したプランが、外部からもうかがえる。デッキに配したアウトドア用の家具は「デドン」で揃えた。2 広々としたデッキには、アルティスのラウンドバスをしっかりとらえた。3 ファミリーコーナーからリビングを見下ろす。「ミノッティ」のシックな家具が調和するように、床のタイルや階段の仕上げ材はモノトーンで整えている。

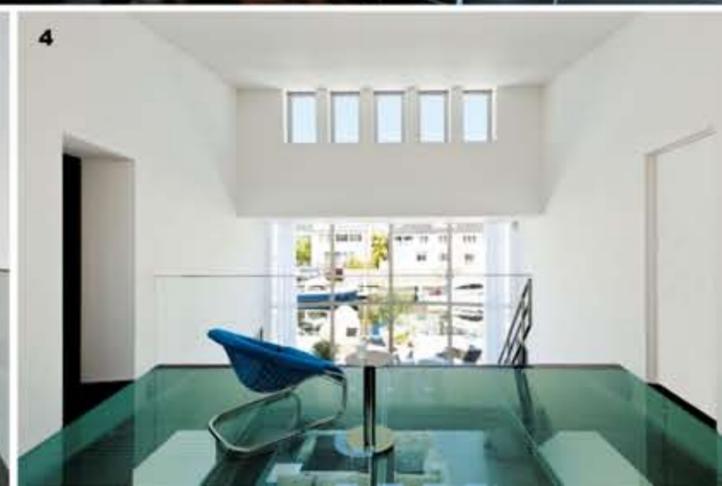


日常を消し去る次世代のリゾート空間

テラスから臨むクルーザー。パース付きのリゾートハウスは、生活感を無くした非日常の世界。ホームオートメーションシステムを搭載し、生活に必要な要素を遮蔽。目に映る景色は、洗練された空間とマリーナの風景だけ ——



- 1.北側に位置するマリーナの景色を臨めるように配置したリビングは、2層吹き抜けの広がりある空間とした。2階部分の床をガラスで仕上げることで、南側の開口から入る光を1階に落とし、明るい空間に仕上げた。
- 2.キッチンから見た風景は、視線が外まで一直線に抜ける。生活感が出てしまいがちなキッチンも、換気扇や水栓設備の選定、カウンターの厚さや、面材の映り込み方など細部のディテールまで配慮し、生活感を払拭した。
- 3.リビングと隣接する和室も、スタイリッシュでモダンな雰囲気。ポイントに設けた積層ガラスはライトアップされ、キラキラと輝く姿は、まるでオブジェのような美しさ。
- 4.2階ホールからの景色。停泊するクルーザーを臨みながら優雅なひと時を過ごす。床材にガラスを使用したことで水の中に浮かぶような浮遊感を演出した。
- 5.南側の開口からたっぷり太陽が注ぐ明るい空間。均一に並ぶ窓は、太陽の動きによって様々な光のラインを落とす。





Earnest Group
Earnest architects

建築設計事務所：アーネストアーキテツ株式会社
お問い合わせ・資料請求：03-3769-3333

アーネストグループ（本社） 〒108-0014 東京都港区芝5-5-1
TEL:03-3769-3333
HP: <http://earnestgroup.net>

アーネスト青山ギャラリー 〒107-0062 東京都港区南青山6-4-6
almost blue A棟-II
TEL:03-6450-6772

こちらの作品は、ホームページでご紹介しています。詳しくご覧になりたい方は
「日常を消し去る次世代のリゾート空間」で検索！

アーネストグループWEBサイトでは様々な作品事例をご覧頂けます。
「アーネストグループ」で検索！アクセスをお待ちしております。



■ DATA
敷地面積 /239.25㎡
延床面積 /233.26㎡
1F /103.03㎡
2F /130.23㎡
鉄骨造

■ 設計 : 荒井大輔
コーディネーター : 山本祐子

■ 撮影 : 熊谷忠宏



- 1.ダイニングは、ガラスの天井の効果で抜け感がある空間に。キッチン開口からは、外観のアクセントとした積層ガラスのスクリーンが見え、昼は陽光を受けてプリズムのように輝き、夜はライトアップされた照明の光で瞬く。それはまるで海の中に居るかのような光景。
- 2.対岸から見た外観。オーナー所有のイタリア製 Rivaのボートが横付けされ、テラスからそのままボートに乗り、いつでも海を航海することが可能。
- 3.バスコートからの景色。水回りとの仕切りにガラスを使用したため、南側の開口まで視線が抜ける。ひと続きの空間はホテルのような心地良さ。
- 4.住居というイメージを取り除くため、照明器具を見せない間接照明を多用。MinottiのWYMANベッドが存在感を放つ寝室。
- 5.直線で構成された箱のような外観。白い外壁と積層ガラスのフレッシュなグリーンとのコントラストが美しい。